

## リフレッシュ理科教室決算報告書 (1/2)

(公社)応用物理学会  
教育企画委員会 委員長殿

2022 年 11 月 18 日

<b>開催支部または分科会</b>	主催：北海道支部 共催：日本物理教育学会北海道支部，電気学会北海道支部，電子情報通信学会北海道支部，北海道大学工学部 後援：札幌市教育委員会
<b>開催責任者</b> （支部長または分科会幹事長）：	北海道支部長 植村 哲也 公印略
<b>開催連絡責任者</b> ：	北海道支部 庶務幹事 山根 啓作
<b>連絡先</b> ：	札幌市北区北13条西8 北海道大学大学院工学研究院 応用物理学部門 TEL 011-706-7883 k-yamane@eng.hokudai.ac.jp

下記のとおりご報告いたします。

(全会場分の収支を纏めてご記載，もしくは会場毎収支のご記載，どちらでも問題ありません。  
会場毎収支をご報告の場合は当ページを会場数分複製の上，ご報告ください。オンライン会場と  
対面実施会場は該当ページを複製し，分けてご報告ください)

<b>事業名</b> ：リフレッシュ理科教室（北海道大学工学部会場） ーサイエンスオリエンテーリング 2022 in 札幌	
<b>リフレッシュ理科教室補助金額</b> ：	46,384 円
<b>開催日</b> ：	2022 年 10 月 22 日
<b>開催場所</b> ：	北海道大学工学部アカデミックラウンジ1・2
<b>決 算</b> （収入合計と支出合計は同額になります）（単位：円）	
収 入	支 出
リフレッシュ理科教室補助金 46,384 円	印刷製本費 237,910 円 (資料・チラシ作成等)
参加費	賃借料 50,500 円 (会場費・プロジェクター等)
広告展示料	通信運搬費 85,774 円 (郵送料, ポスター送付)
支部分科会からの支援金 40,000 円	消耗品費 33,798 円 (実験材料, 会場消毒用品等)
企業からの協賛金	臨時雇賃金 【支払人数計 14 名】 (アルバイト賃金等) 58,000 円
助成金 (県・市など)	諸謝金 【支払人数計 11 名】 (講師謝礼等) 61,248 円
電気学会北海道支部 100,000 円	雑 費 935 円
電子情報通信学会北海道支部 100,000 円	支部・分科会への戻し入れ 18,219 円
応用物理学 学術教育奨励基金 260,000 円	
合 計 546,384	合 計 546,384

決算報告書は，支部（分科会）会計後 1 か月以内に応物事務局 教育企画委員会担当宛へ  
各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付（WORD 形式）にてご提出ください(原本不要で  
す)。講師謝礼金やアルバイト代については，支払人数を必ず記載してください。

## リフレッシュ理科教室実施報告書 (2/2) (対面実施形式)

以下のとおりご報告いたします。

**事業名：**リフレッシュ理科教室（北海道大学工学部会場）  
－ サイエンスオリエンテーリング 2022 in 札幌

**開催日：** 2022 年 10 月 22 日

**開催場所** 北海道大学工学部アカデミックラウンジ1・2

**参加者人数**（スタッフ以外の参加者を記述してください）：合計 59 名

内訳 ① 児童・生徒： 33 名（小学生未満：4名，小学生：25名，中学生：4名）  
② 保護者・一般：26 名  
③ 教諭等： 名

**内容**（委員会での検討や本部への報告書作成のため、各会場の特徴や工夫していることなどについてご記入下さい。）

例：各会場の運営や参加対象などの特徴、教員対象の講演会・講習会、教育委員会との連携、地方公共団体との協力、他の団体との協力など。また、補助金に対する要望事項、他支部でも参考になる事項、良かった点、悪かった点など

※ここに掲載する写真等は応用物理学会 HP に掲載しても良い内容でお願いいたします。

※肖像権などにご配慮いただき、後ろから撮影した写真等をご利用ください。

昨年度に引き続き今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年より規模を縮小して定員 50 名程度として実施した（参加者 59 名）。また感染防止対策にも十分に配慮をした。具体的には、参加者を前半と後半の 2 グループに分け、2 部制とすることで密を回避した。また、氏名や連絡先等の事前登録が必要な完全予約制とした。さらに、会場は換気の徹底、およびソーシャルディスタンス確保にも留意した。当日は、スタッフ・参加者全員の検温の実施、希望者への不織布マスクやラテックスグローブの配布、各所へのアルコール消毒液の設置、および撤収時に会場の机等のアルコール消毒などを実施した。

本事業では例年、日本物理教育学会北海道支部との共催により、地域の理科教育に尽力されている中学高校の理科教員、元教員の先生方などにご協力いただき、多くの理科実験テーマの演示を行っている。今年度も、例年と同様の形式で実施した（今年度は 12 テーマ実施した）。上述のように、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定員を 50 名程度に制限することとなったが、申し込み開始からわずか 2 日で定員に達し、その後もキャンセル待ち希望の連絡が届くなど、地域の児童・生徒に対する理科教育の要望の高さを改めてうかがい知る機会となった。

昨年度に引き続き今年度もリフレッシュ理科教室北大会場では、各ブースの理科実験の様子の動画撮影を行った。本データは、ホームページにおいて理科教育・広報コンテンツとして公開することを目指し、編集作業などに取り組んでいきたいと考えている。

参加登録者 56 名を 2 グループに分け、密を避けるため 2 部制で実施した。当日は 8 時より準備をはじめ、9 時より受付を開始した。第 1 部（9 時 30 分～10 時 45 分）および第 2 部（10 時 45 分～12 時）の 2 回にわたり、12 の理科実験ブースを体験して回るスタンプラリー形式にて実施した。各グループ 75 分ずつと、短い時間での実施となったが、帰り際に多くのご家族が「短かった」「楽しかった」と言って会場を後にされていたのが印象的であった。

応用物理学会北海道支部では、リフレッシュ理科教室北大会場開催の案内のため、札幌市内の小学校・中学校・高等学校および科学館・児童館など計 500 以上の施設にパンフレット・ポスターを配布するなど、本事業の周知・普及に努めている。今後も、地域の児童・生徒に対する理科教育活動を最重要事業の一つと位置づけ、本事業を継続的に実施していきたいと考えている。



実施報告書は、リフレッシュ理科教室開催後1か月以内に応物事務局 教育企画委員会担当宛まで各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付（WORD 形式）にてご提出ください(原本不要です)。